

第82回 簿記実務検定第 2 級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金	当 座 預 金	受 取 手 形	売 掛 金
未 収 金	仮 払 法 人 税 等	備 品	備品減価償却累計額
支 払 手 形	買 掛 金	未 払 法 人 税 等	保 証 債 務
社 債	資 本 金	資 本 準 備 金	繰越利益剰余金
売 上	固 定 資 産 売 却 益	仕 入	租 税 公 課
株 式 交 付 費	社 債 発 行 費	社 債 償 還 損	保 証 債 務 費 用
固 定 資 産 売 却 損	支 店	本 店	試 用 販 売 契 約
試 用 仮 売 上	損 益		

a. 試用販売のため、北海道商店に売価 ￥790,000 の商品を送付していたが、本日、同店からこの商品
を買い取るとの通知を受けた。なお、商品の発送時に対照勘定を用いて備忘記録をしている。

b. 北西物産株式会社は、決算の結果、当期純損失 ￥520,000 を計上した。

c. 宮城商事株式会社は、次の条件で社債を発行し、全額の払い込みを受け、払込金は当座預金とした。なお、
この社債の発行に要した諸費用 ￥410,000 は小切手を振り出して支払った。

発行条件	額面総額 ￥30,000,000	払込金額	額面 ￥100 につき ￥98.60
	償還期限 10年	利 率 年2%	利 払 い 年2回

d. 茨城商事株式会社は、取得原価 ￥2,000,000 の備品を ￥680,000 で売却し、代金は月末に
受け取ることにした。なお、この備品に対する減価償却累計額は ￥1,250,000 であり、これまでの
減価償却高は間接法で記帳している。

e. 千葉商店から商品 ￥600,000 を仕入れ、代金は得意先神奈川商店振り出し、当店あての約束手形
￥400,000 を裏書譲渡し、残額は小切手を振り出して支払った。なお、保証債務の時価は手形額面金額
の/%とする。

f. 埼玉商会の本店は、支店に送付した商品のうちに品違いがあったので、原価 ￥21,000 の商品の返送
を受けた。(本店の仕訳)

g. 福島商事株式会社は、法人税・住民税及び事業税の確定申告をおこない、決算で計上した法人税等の額
から中間申告のさいに納付した額を差し引いた ￥830,000 を現金で納付した。

2 次の取引を特殊仕訳帳としての当座預金出納帳と売上帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳・買掛金元帳に転記しなさい。

- ただし、i 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
 ii 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
 iii すでに記入してある取引も転記すること。
 iv 総勘定元帳・売掛金元帳・買掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
 v ほかに特殊仕訳帳として、現金出納帳と仕入帳を用いている。

取引

10月/3日 秋田商店に次の商品を売り渡し、代金のうち ¥150,000 は同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れ、残額は掛けとした。

B 品 800個 @¥500 ¥400,000

10/5日 秋田商店に売り渡した上記商品のうちに品違いがあったので、次のとおり返品された。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。

B 品 20個 @¥500 ¥ 10,000

25日 青森商店に対する買掛金 ¥260,000 を小切手を振り出して支払った。

28日 岩手商店から、商品代金として受け取っていた同店振り出しの約束手形 ¥370,000 を取引銀行で割引き、割引料 ¥3,000 を差し引かれた手取金は当座預金とした。(当座預金出納帳だけで処理すること。)

3 次の各問いに答えなさい。

- (1) 山形商店（個人企業）における本店・支店の損益計算書と未達事項および本支店合併後の損益計算書によって、次の金額を計算しなさい。ただし、未達事項整理前の本店における支店勘定の残高は ¥971,000（借方）、支店における本店勘定の残高は ¥675,000（貸方）である。

- a. 支店勘定残高と本店勘定残高の一致額 b. 本店損益計算書の受取手数料（アの金額）
 c. 本支店合併後の当期純利益（イの金額）

本店 損益計算書			
平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで			
費用	金額	収益	金額
売上原価	3,026,000	売上高	()
給料	684,000	受取手数料	(ア)
旅費	148,000		
減価償却費	120,000		
雑費	12,000		
当期純利益	490,000		
	4,480,000		4,480,000

支店 損益計算書			
平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで			
費用	金額	収益	金額
売上原価	1,700,000	売上高	2,500,000
給料	342,000	受取手数料	18,000
旅費	114,000		
減価償却費	80,000		
雑費	8,000		
当期純利益	274,000		
	2,518,000		2,518,000

未達事項

- ① 本店から支店に発送した商品 ¥217,000（原価）が、支店に未達である。
 ② 支店で本店の買掛金 ¥95,000 を支払ったが、この通知が本店に未達である。
 ③ 支店で本店の旅費 ¥35,000 を立て替え払いしたが、この通知が本店に未達である。
 ④ 本店で支店受取分の手数料 ¥51,000 を受け取ったが、この通知が支店に未達である。

[本支店合併後の損益計算書]

損益計算書			
山形商店 平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで			
費用	金額	収益	金額
売上原価	()	売上高	()
給料	1,026,000	受取手数料	99,000
旅費	()		
減価償却費	200,000		
雑費	20,000		
当期純利益	(イ)		
	()		()

(2) 群馬商店では伝票制を採用し、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法で起票している。よって、

- a. 5月/2日の略式の伝票を集計したさいの仕訳集計表の(ア)と(イ)に入る金額を計算しなさい。
ただし、下記の取引について、必要な伝票に記入したうえで計算すること。
- b. 下記の仕訳集計表から、総勘定元帳に転記後の当座預金勘定の残高を計算しなさい。ただし、5月/1日の当座預金勘定の残高は ¥983,000 であった。

取 引

5月/2日 前橋商店から商品 ¥280,000 を仕入れ、代金のうち ¥150,000 は約束手形 #9を振り出して支払い、残額は現金で支払った。

入金伝票	
売 掛 金	259,000
受取利息	17,000
売 掛 金	462,000
() ()	

出金伝票	
買 掛 金	125,000
当座預金	279,000
消耗品費	64,000
() ()	

売上伝票	
桐生商店	493,000
高崎商店	470,000
太田商店(戻り)	21,000
伊勢崎商店	347,000

仕入伝票	
館林商店	297,000
富岡商店(値引)	5,000
草津商店	143,000
() ()	

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
受取手形	205,000	売 掛 金	205,000
当座預金	197,000	売 掛 金	197,000
買 掛 金	219,000	当座預金	219,000
当座預金	185,000	受取手形	185,000
消耗品費	46,000	当座預金	46,000
() ()		() ()	

仕 訳 集 計 表
平成〇年5月/2日

借 方	元 丁	勘 定 科 目	元 丁	貸 方
		現 金		
		当 座 預 金		
		受 取 手 形		
		売 掛 金		
		()		
(ア)		買 掛 金		
		売 上		
		受 取 利 息		
		仕 入		
		消 耗 品 費		
(イ)				(イ)

- (3) 東北商店(決算年/回 12月31日)の決算日における次の受取地代勘定の(①)に入る勘定科目と(②)に入る金額を記入しなさい。ただし、地代は3月末と9月末に経過した6か月分 ¥144,000 を受け取っている。

受 取 地 代			
1/1 (①)	72,000	3/31 現 金	()
12/31 損 益 (②)		9/30 現 金	()
		12/31 未収地代	()
	()		()

4

関東商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。よって、損益計算書（2区分）と貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金	¥ 463,000	当座預金	¥ 2,182,000	受取手形	¥ 1,250,000
売掛金	2,750,000	貸倒引当金	6,000	有価証券	1,800,000
繰越商品	1,400,000	貸付金	1,700,000	備品	1,500,000
備品減価償却累計額	900,000	支払手形	1,680,000	買掛金	2,650,000
従業員預り金	300,000	資本金	7,000,000	売上	19,970,000
受取手数料	49,000	受取利息	34,000	仕入	14,020,000
給料	3,300,000	支払家賃	1,320,000	保険料	471,000
消耗品費	385,000	租税公課	40,000	雑費	8,000

付記事項

- ① 当期首に購入した備品B ¥300,000 を消耗品費勘定で処理していたので、これを修正する。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥1,560,000
- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 備品について、次のとおり定額法によって、減価償却をおこなう。
- | | 取得原価 | 残存価額 | 耐用年数 |
|-----|------------|------|------|
| 備品A | ¥1,500,000 | 零(0) | 10年 |
| 備品B | ¥300,000 | 零(0) | 5年 |
- d. 有価証券評価高 売買を目的として保有する次の株式について、時価によって評価する。
- 栃木商事株式会社 40株
- 帳簿価額 1株 ¥45,000 時価 1株 ¥47,000
- e. 消耗品未使用高 ¥13,000
- f. 保険料前払高 保険料のうち ¥336,000 は、本年6月/日からの1年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- g. 家賃未払高 家賃 ¥120,000 を当期の費用として見越し計上する。

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援
第82回 簿記実務検定 2級 **商業簿記** [答案用紙]

1		借	方	貸	方
	a				
	b				
	c				
	d				
	e				
	f				
	g				

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	総得点
----------------	----------------	----------------	----------------	-----

試 験 場 校	受 験 番 号

[illegible]

帳 上 売

2

[illegible]

総 勘 定 元 帳

現金		1	当座預金		2
1/1 前期繰越	314,000		1/1 前期繰越	850,000	
受取手形		3	売掛金		4
1/1 前期繰越	500,000		1/1 前期繰越	1,170,000	
買掛金		14	売上		18
		1/1 前期繰越 823,000			
手形売却損		27			

売 掛 金 元 帳

秋 田 商 店		1	岩 手 商 店		2
1/1 前月繰越	430,000		1/1 前月繰越	150,000	

買 掛 金 元 帳

青 森 商 店		1
		1/1 前月繰越 384,000

3

- (1)
- | | |
|-----------------------------------|------------------------------|
| <p>a 支店勘定残高との差額
本店勘定残高の差額</p> | <p>b 本店損益計算書の受取手数料（アの金額）</p> |
| <p>c 本支店合併後の当期純利益（イの金額）</p> | |
- (2)
- | | |
|--------------|------------|
| <p>a ア 〃</p> | <p>イ 〃</p> |
| <p>b 〃</p> | |
- (3)
- | | |
|----------|------------|
| <p>①</p> | <p>② 〃</p> |
|----------|------------|

2 得点	3 得点
--	--

4

損 益 計 算 書

関東商店

平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期 首 商 品 棚 卸 高		売 上 高	
仕 入 高		()	
()			
給 料		売 上 総 利 益	
()		受 取 手 数 料	
()		受 取 利 息	
支 払 家 賃		()	
保 険 料			
消 耗 品 費			
租 税 公 課			
雑 費			
()			

貸 借 対 照 表

関東商店

平成○年/2月3/日

資 産	金 額	負 債 お よ び 純 資 産	金 額
現 金		支 払 手 形	
当 座 預 金		買 掛 金	
受 取 手 形 ()		従 業 員 預 り 金	
貸 倒 引 当 金 ()		()	
売 掛 金 ()		資 本 金	
貸 倒 引 当 金 ()		()	
有 価 証 券			
商 品			
()			
貸 付 金			
()			
備 品 1,800,000			
減価償却累計額 ()			

4

得点

1		借 方		貸 方	
a	売 掛 金	790,000	売 上	790,000	
	試用仮売上	790,000	試用販売契約	790,000	
b	繰越利益剰余金	520,000	損 益	520,000	
c	当 座 預 金	29,580,000	社 債	29,580,000	
	社債発行費	410,000	当 座 預 金	410,000	
d	備品減価償却累計額	1,250,000	備 品	2,000,000	
	未 収 金	680,000			
	固定資産売却損	70,000			
e	仕 入	600,000	受 取 手 形	400,000	
	保証債務費用	4,000	当 座 預 金	200,000	
			保 証 債 務	4,000	
f	仕 入	21,000	支 店	21,000	
g	未払法人税等	830,000	現 金	830,000	

2 当 座 預 金 出 納 帳										2
平成 〇年	勘 定 科 目	摘 要	元 子	売 掛 金	諸 口	平 成 〇年	勘 定 科 目	摘 要	元 子	諸 口
/ 7	売 掛 金	前ページから		600,000	450,000	/ 12	現 金	引き出し	✓	380,000
		秋田商店 売1		320,000						180,000
13	売 上	秋田商店 ✓			150,000	25	買 掛 金	青森商店 買1		
28	受取手形	約手割引 3			370,000	28	手形売却損	約手割引 27		3,000
				920,000	970,000					563,000
31		売 掛 金 4			920,000	31		買 掛 金 14		670,000
〃		当座預金 2			1,890,000	〃		当座預金 2		1,233,000
		前月繰越 ✓			850,000			次月繰越 ✓		1,507,000
					2,740,000					2,740,000

売 上 帳					2
平成 〇年	勘定科目	摘 要	元 子	売 掛 金	諸 口
/ 8	売 掛 金	前ページから		375,000	128,000
		岩手商店 掛 け	売2	210,000	
		A 品 300個 @¥700			
13	当座預金	秋田商店 小切手 ✓			150,000
	売 掛 金	掛 け	売1	250,000	
		B 品 800個 @¥500			
15	売 掛 金	秋田商店 掛け戻り	売1	10,000	
		B 品 20個 @¥500			
				835,000	278,000
31		売 掛 金 4	4		835,000
〃		総売上高	18		1,113,000
〃		売上戻り高	18/4		10,000
		純売上高			1,103,000

総勘定元帳

現金		当座預金	
1	2	1	2
現		1/1 前期繰越	1,233,000
1/1 前期繰越 31/4,000		31	1,890,000
		1/1 前期繰越 500,000	920,000
受取手形	3	31	835,000
1/1 前期繰越 500,000	1/28	1/1 前期繰越 1,700,000	10,000
		31	10,000
買掛金	14	1/1 前期繰越 823,000	1,113,000
1/1 前期繰越 670,000	1/1 前期繰越 823,000	1/31	1,113,000
		1/1 前期繰越 430,000	1,500,000
手形売却損	27	13	210,000
1/28	3,000	15	210,000
		1/1 前期繰越 320,000	1,500,000
秋田商店	1	1/1 前期繰越 10,000	210,000
		8	210,000
岩手商店	2		

売掛金元帳

1	2
秋田商店	1
1/1 前期繰越 430,000	1/7
13	15
1/28	3,000

買掛金元帳

1	2
青森商店	1
1/25	260,000
	1/1 前期繰越 384,000

3

(1)	a	支店勘定残高との本店勘定残高の差額	841,000	b	本店損益計算書の受取手数料(アの金額)	30,000
	c	本支店合併後の当期純利益(イの金額)	780,000			
(2)	a	ア	629,000	イ		4,394,000
	b		1,379,000			
(3)	①	未収地代		②		288,000

損益計算書

平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで

関東商店	費用	金額	収益	金額
期首商品棚卸高		1,400,000	売上高	19,970,000
仕入高		14,020,000	(期末商品棚卸高)	1,560,000
※(売上総利益)		6,110,000		
		21,530,000		21,530,000
給料		3,300,000	売上総利益	6,110,000
(貸倒引当金繰入)		74,000	受取手数料	49,000
(減価償却費)		210,000	受取利息	34,000
支払家賃		1,440,000	(有価証券評価益)	80,000
保険料		331,000		
消耗品費		72,000		
租税公課		40,000		
雑費		8,000		
※(当期純利益)		798,000		
		6,273,000		6,273,000

(i) 貸倒引当金繰入は、貸倒償却でもよい。
(ii) ※印の売上総利益と当期純利益の記入は、赤記でもよい。

貸借対照表

関東商店	資産	金額	負債および純資産	金額
現金		463,000	支払手形	1,680,000
当座預金		2,182,000	買掛金	2,650,000
受取手形 (1,250,000)			従業員預り金	300,000
貸倒引当金 (25,000)		1,225,000	(未払家賃)	120,000
売掛金 (2,750,000)			資本金	7,000,000
貸倒引当金 (55,000)		2,695,000	(当期純利益)	798,000
有価証券		1,880,000		
商用品		1,560,000		
(消耗品)		13,000		
貸付金		1,700,000		
(前払保険料)		140,000		
備用品 1,800,000				
減価償却累計額 (1,110,000)		690,000		
		12,548,000		12,548,000